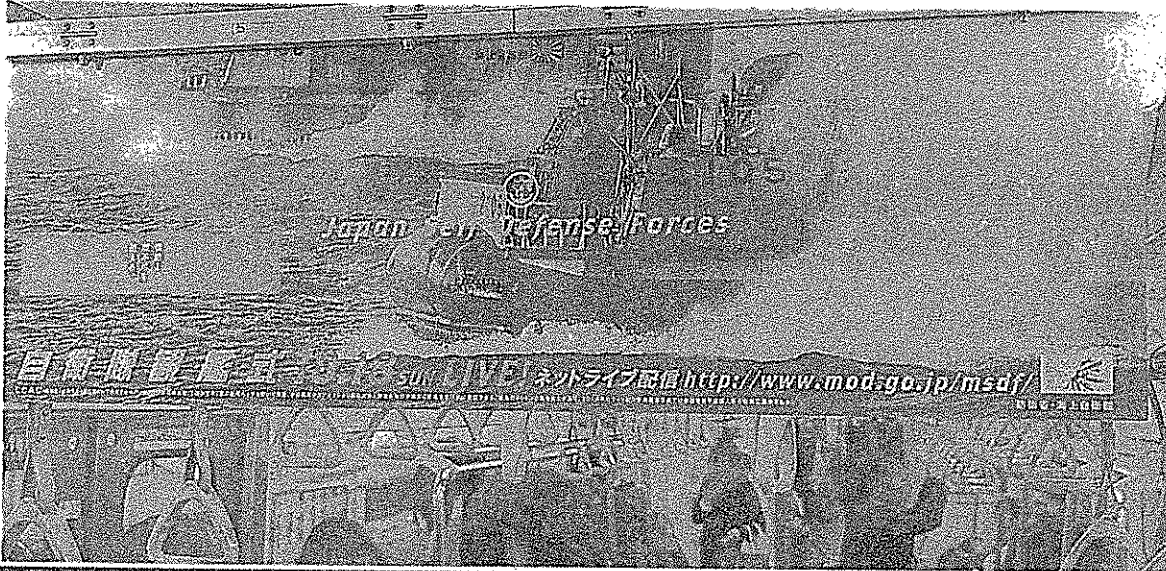


# 自衛隊が車内広告占拠



水陸両用の輸送艇と「情熱よ、理不尽を超えろ。」のキャッチフレーズを描いた自衛隊のJR車内広告。16日、東京都内（画像の一部を加工）

## 首都圏JR、私鉄に観艦式広報

「部隊（隊員等）の士気を高め、国内外に自衛隊の精強さをアピールする」目的で18日に神奈川県横須賀沖で開催される自衛隊観艦式の広報ポスターが、JR東日本や首都圏の大手私鉄車両の中づり広告を貸し切り状態で占拠しています。イジス艦や潜水艦の勇ましい写真と合わせて描かれた、「誰かを助けたいという気持ちに国境なんてない」などのキャッチフレーズに、乗客からは「早くも『戦争法』が動き出した」との不安の声が聞かれました。（野村説）

観艦式は、防衛省によれば「明治元年、天皇陛下をお迎えして実施された」のが始まりで、「最高指揮官（内閣総理大臣）が艦隊を視閲することにより、国際親善や防衛交流を促進すること」が目的とされ、「一般の方々が大迫力の護衛艦クルーズを体感」できることなどをうたい文句にしています。今回で28回目。

## 乗客「そら恐ろしい」

広報ポスターは、東京都港区に本社を置く大手私鉄・京急電鉄のブルースカイトレインやJR東日本中央総武線の各駅停車車両、横浜市営地下鉄ブルーラインの鉄道車両で1日以降、順次姿を現しました。1編成すべてが自衛隊の広報ポスター（10両編成なら140枚）で乗客の頭上を占拠されている状況も生まれています。

乗客からは、「そら恐ろしい（70代女性）」、「ともかく、ぞっとした」（男性・世田谷区在住）などの感想が相次いでいます。

同様の広告はJR東日本の横須賀駅や横浜駅構内などにも張りだされているのに加え、「ハチ公」で知られる渋谷駅前交差点の大型電光掲示板でも放映されています。

防衛省海上幕僚監部の広報室は、ポスターは計1760枚刷り、車両の選定にあたってはイベント開催地を考慮したと話します。しかし、ポスターなどの製作経費や広告代については「申し上げられない」と回答しませんでした。